

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	本町田学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市本町田2032(本町田小学校敷地内) 【開設年月】 2002年 【開所日時】 月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】 延床面積 223㎡ 【建物構造】 重量鉄骨造 平屋建て 【児童数】 94名(2022年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://honmatidagakudou.wixsite.com/kiseikai		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 貴静会	法人番号	9012305000450
指定管理者所在地	町田市常盤町2970-1		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
利用者満足度調査 全体満足度80%以上	2023年度まで継続達成	2022年度も全体満足度92.2%で目標を達成した
入会児童以外の方への施設利用	2023年度まで継続達成	コロナ禍であり、積極的に入会児童以外の方の施設の使用の活動は控えた。
地域の様子に理解のある町田市民の雇用	2023年度まで継続達成	2022年度は新たに3名の雇用実績があった

3. 昨年度の課題

内容	利用者満足度調査のアンケート回収率は75%を下回っており、利用者の意見聴取に課題があった。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>C</b> 【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体満足度については90%以上、サービス・施設管理面については目標値には届かなかったものの、85%以上の満足度を得られていることから、一定以上のサービスを提供していると判断できる。 昨年度の課題であった利用者満足度調査回収率については、昨年度から6ポイント上がって58.2%となり、改善が見られたが、依然として、回収率が75%を下回っている状態が5年以上で続いているため、更なる改善を継続するよう指導した。 研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。 その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、全体的に要求を満たした運営を行っているが、児童の安全性が損なわれた案件も発生したため、総合評価を「C」とした。 なお、本件については、本指定管理者が運営している全4学童保育クラブにて事例共有及び再発防止策を講じたため、現状は改善しているものと判断した。
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	運営方法に基づき、「子どもたちが楽しく学童で過ごし、保護者の方も安心して利用できるクラブ」を念頭に置いて、日々の保育・行事の開催を行っている。本クラブのある本町田小学校の校長先生・先生方とも連携・連絡を取り、児童の様子や状況などの情報を共有し、保育を行った。連絡ノートでの保護者からの日々の連絡やクラブからのお知らせなど、連絡や情報発信はスムーズに行えている。お迎えに見えた保護者には積極的に声をかけ、お話をし親しみやすいクラブになるようにその日の様子などをお伝えした。利用者アンケートについては回収率が多少あがったものの58.2%であった。次年度に向けて、アンケートに協力していただけるよう、工夫をしていく。

## 【評価対象年度 2022年度】

### 5. サービスの質に関する評価

#### 【利用者アンケート調査】

調査概要	<b>【調査期間】</b> 2023年2月16日～2023年3月4日(17日間) <b>【登録児童数】</b> 82名(調査月1日時点) <b>【配布枚数】</b> 67枚 <b>【回答数】</b> 39枚 <b>【回収率】</b> 58.2% <b>【調査方法】</b> (配布方法)連絡ノートに挟んで配布 (回収方法)回答用紙をノートに挟んで頂き回収・保護者の持参や回収ボックスに投函して頂き回収
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A:95%以上 B:75%以上～95%未満 C:75%未満	90%	92.1%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	80	90	90	90	90
実績値	86.7	94.4	91.7	92.1	

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A:95%以上 B:75%以上～95%未満 C:75%未満	90%	89.0%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	80	90	90	90	90
実績値	91.1	95.3	97.1	89.0	

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A:10回以上 B:2回以上10回未満 C:2回未満	9回	12.5回	A	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	8	8	9	9	10
実績値	11.0	8.5	11.0	12.5	

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	利用者満足度において85%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は75%を下回っており、利用者の意見聴取に課題があった。次年度以降の改善を指導した。研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2022年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに適切に提出していたことを確認した。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを施設点検記録で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されていることを「個人情報保護規定」等で確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていることを書類・写真・電子データの保管方法マニュアルで確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを「苦情対応・解決について」で確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを「防火管理 火災・地震など災害時の体制について」、「本町田学童保育クラブ 緊急時マニュアル」等で確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを「育成日誌」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを「食物アレルギー対応ガイドブック」、「食物アレルギー緊急対応マニュアル」等で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	管理運営経費の削減に取り組んでいたことを「事業報告書」等で確認した。	適

【評価対象年度 2022年度】

地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が71.4%であることを「職員調書」で確認した。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年1月19日に同一法人が管理する小山田学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2023年1月19日に同一法人が管理する小山田学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2019		2020		2021		2022		2023	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	38,197	33,464	37,315	36,989	39,974	33,772	49,929	36,110	24,375
	特別育成料	0	298	0	0	316	316	386	247	129
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄付等	0	74	0	0	0	0	0	0	0
	計	38,197	33,836	37,315	36,989	40,290	34,088	50,315	36,357	24,504
支出	人件費	33,325	28,307	31,793	25,321	35,351	28,171	45,372	29,554	20,210
	管理費	831	856	703	827	944	790	864	796	683
	運営費	714	796	552	700	715	562	799	635	481
	精算する経費	1,500	1,155	1,537	1,513	1,450	1,092	1,450	1,953	1,300
	間接経費	1,827	1,800	2,730	2,730	1,830	1,800	1,830	1,830	1,830
	計	38,197	32,914	37,315	31,091	40,290	32,415	50,315	34,768	24,504
総計(収入-支出)	0	922	0	5,898	0	1,673	0	1,589	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業者の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	3.3	10.3	7.4	7.8	
負債比率	33.9	36.8	23.7	29.3	

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	決算書により、指定管理業務に関わる経費については適切であり、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率、負債比率は適正な値であった。